

広報はちおうじ

地域づくり特集号

3.1

令和7年
(2025年)



地域をもっと好きになる

「地域づくり」とは、地域をより良くする活動そのもの。一緒に地域のことを考えてみませんか？

【問い合わせ】総合経営部 経営計画課 地域づくり担当 ☎620・7307 FAX627・5939

「地域づくり推進基本方針」を改定

◆持続可能な地域づくりをめざして

地域の課題を解決し、
よりよい地域をつくっていく「地域づくり」

八王子未来デザイン2040のスタートや、これまでの地域づくり推進事業の経過を踏まえて、本市における地域づくりの基本的な考え方やその進め方などを示した「八王子市地域づくり推進基本方針」（令和2年3月策定）の改定作業を昨年度から進めてきました。

新たに策定する「八王子市地域づくり推進基本方針2024改定版」は、令和7年3月に公表します。



◆新しい地域づくりのビジョン



ゆるやかなつながりから、地域づくりの好循環が生まれるよう取組を進めます。

◆何が変わるの？

地域づくり推進会議を、
持続可能なプラットフォームに

これまで市では、中学校区を単位として、地域の多様な住民や団体、地域に関わる人などがつながる「地域づくり推進会議」を市内6地区（長房・川口・みなみ野・南大沢・恩方・加住）に設置し、取組を進めてきました。

今後は、この取組を持続可能な形で全市に展開していくため、「地域づくりの3原則」に基づいて事業を展開します。

令和7年度から、6つの地域づくり推進会議は新しい基本方針に基づいたプラットフォームへの転換をめざします。

キーワード

ゆるやかなつながりを大切に
地域をもっと好きになる！

様々な地域の取組が行われ、地域に関わる人が
ゆるやかにつながる

様々なつながりの中で、地域を
「我がこと」と感じ、好きになる

地域で暮らす人がほっとする住みよいまちを
みんなで作っている

第1 自発の原則

地域づくりの取組が、地域づくりに関わる住民などステークホルダーの自発的な動機に基づくものであること

第2 自前の原則

ヒト・モノ・カネ・情報といった地域資源について、まず自前のものを、掘り出し、磨きをかけ、活用すること

第3 自在の原則

自発・自前＝内発を前提としたうえで、あえて外発的な要素を加味し、内発的な要素だけでは十分ではない、あるいはそれ以上の効果が期待されると判断されたとき、真に必要であれば躊躇わず地域外資源を活用すること

▲地域づくりの3原則

基本方針改定の経過や新しい基本方針は市のホームページで

八王子市地域づくり推進基本方針



「地域共創アイデアソン」を開催しました

◆共創の視点で地域づくりを

「共創」とは、さまざまな人や団体の強みを活かし合い、新たな価値を生み出していくこと。市では、複雑化する課題やニーズに地域と力を合わせて対応していくため、これからの地域づくりには共創の視点が大切になると考えています。

昨年11月に開催した「地域共創アイデアソン」は、地域づくりの主役となる多様な方たち（地域住民・大学生・企業・行政）が地域課題の解決策や地域の魅力向上策を一緒に考え、創造的・実践的なアイデアを生み出すイベント。参加した方々は5グループに分かれ、提示された3テーマの中から1つを選び、アイデアを出し合いました。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| A | 若い世代が生まれ育った地域に戻ってきたくなる、地域でできるアイデア |
| B | 地域ボランティアへの自発的な参加を増やすためのアイデア |
| C | 地域のお祭りを若い世代に継承していくためのアイデア |

▲提示テーマ



▲グループトークの様子

◆どんなアイデアが出た？

参加者から最も多くの共感を得たチーム「シシマイ」はテーマAを選択。出生届の提出時に、地域の名所や文化体験がリストアップされたビンゴカードを配付することで、幼い頃からゲーム感覚で八王子の魅力にたっぷり触れ、生まれ育った地域に対する愛着を育むというアイデアでした。



1st Place

共創イノベーション賞

グループ名 シシマイ

アイデア名 はちプロに、おれはなる！
ビンゴ BINGO



共創と地域づくりの専門家として
参加した先生からは…



アイデアには自分たちが主体的にできる仕組みや仕掛け、楽しさがしっかりと組み込まれていました。次の世代や他の人も誘い合わせて、広く展開して欲しいと思います。

東京都立大学法学部教授
大杉 寛氏



ー コメント ー

新しい試みには、未知への不安やリスクがつきものです。一步を踏み出す「謎の勇気」や「好奇心」が、イノベーションを生み出す原動力になります。

〈モデレーター〉
事業構想大学院大学客員准教授
中川 悦宏氏



ー コメント ー

地域課題の解決には、楽しむ気持ちや余裕が欠かせません。今日のつながりやアイデアが未来に向けてどのように形を変えながら広がっていくのかとても楽しみです。

法政大学社会学部准教授
谷本 有美子氏

イベントの詳細や生まれたアイデアは市のホームページで

八王子市地域共創アイデアソン



恩方・加住でも推進会議がスタート

地域づくり推進会議で生まれたつながりから、
地域の特色を生かした多彩な取組が生まれています。



恩方中学校区

地域が主役の推進会議

恩方中学校区では、地域の方が司会進行し、みなさんで居心地の良い雰囲気を作っています。恩方で活動されているさまざまな人や団体が、地域の困りごとや、やってみたいことなどを共有し、一緒にできる仲間を見つけ、できることからチャレンジを始めています。



▲地域の方による司会進行

地域ぐるみ獣害対策

恩方地域では、人の手が入っていない果樹を狙ったサルによる被害が発生しています。市の獣害対策課は、推進会議のつながりを活かし、地域住民や恩方中学校に加え、聖パウロ学園高等学校の生徒とユズを収穫しました。

収穫したユズは、市内企業の協力を得て、商品への活用を進めています。



▲ユズの収穫



▲ユズの皮むき

加住中学校区

大学生が活躍する地域づくり

加住中学校区では、大学等の高等教育機関が複数立地しているため、多くの大学生が推進会議に参加しています。また、地域住民と連携して司会進行するなど、分野や世代を超えた交流が図られ、新たなつながりが生まれています。



▲大学生による司会進行

地域の一員としてお祭りを盛り上げる

大学生は加住市民センターまつりでも大活躍。楽しみながら、地域の一員としてお手伝いをしてくれました。

こうした地域イベント等への参加により、地域をより深く知るきっかけとなり、一緒に手を動かしてみることで、地域活動の面白さや大変さを学んでいます。



▲大学生による販売



▲ホタテ焼きにも挑戦

